

平成24年7月17日
国土交通省大臣官房官庁営繕部

大臣官房官庁営繕部における 平成24年度優良工事等表彰について

大臣官房官庁営繕部における平成24年度優良工事等表彰につきまして、以下のとおり、官庁営繕部長より表彰しましたので、お知らせします。

1. 概要

官庁営繕部では、技術・品質の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的として、官庁営繕部が発注する工事及び業務に関し、その施工及び成果が優れているものであって他の模範とするにふさわしいものを優良工事等として選定し、表彰しています。今回、平成23年度に終了した工事及び業務の中から、成績評定点等を考慮して選定し、表彰しました。

2. 表彰式

日時：平成24年7月17日（火） 15：30～
場所：官庁営繕部会議室（中央合同庁舎第2号館13階）

3. 受賞団体及び受賞者

《優良工事表彰》2団体

- ・工事名：外務本省改修（09）建築工事
受賞団体：株式会社 松下産業
- ・工事名：経済産業省総合庁舎改修（09）電気設備工事
受賞団体：株式会社 きんでん東京本社

《優秀工事技術者表彰》1名

- ・工事名：外務本省改修（09）建築工事
職名：監理技術者
受賞者：株式会社 松下産業 藤岡 貴尋 氏

《優良業務表彰》1団体

- ・業務名：経済産業省総合庁舎外1件改修（11）設計業務
受賞団体：株式会社 あい設計東京支社

《優秀技術者表彰》1名

- ・業務名：経済産業省総合庁舎外1件改修（11）設計業務
職名：管理技術者
受賞者：株式会社 あい設計 藤原 正友 氏

添付資料 （別紙）選定理由

問い合わせ先	
国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室	岩野、佐藤
	電話：03-5253-8111 (内線23533、23534)
	直通：03-5253-8238
	FAX：03-5253-1544

大臣官房官庁営繕部における平成24年度優良工事等表彰の選定理由

表彰種類	受賞団体又は受賞者	選 定 理 由
《優良工事表彰》	工 事 名：外務本省改修(09)建築工事 受賞団体：株式会社 松下産業	本工事は、便所改修、蓄熱槽の防水・断熱改修、地下書庫改修、外部建具改修、外壁タイル落下防止と、工事内容が多種であるとともに工事箇所も多岐にわたる工事であったが、関連工事業者と綿密な調整を図り、便所改修では仮設配管を設置し工事中でも使用できる対策を行ったり、執務室内の改修では什器の移動を伴わない仮設計画を立てたりするなど、利用者に十分な配慮を行った。 また、各工事において試験施工による検証を随時行い、品質の向上を図った。
《優良工事表彰》	工 事 名：経済産業省総合庁舎改修 (09)電気設備工事 受賞団体：株式会社 きんでん東京本社	本工事は、電話の構内交換設備の経年劣化に伴い、既存の設備を使いながらシステム全体を更新する工事であった。事前に検討したところ、電話交換機の切替え作業は3日間連続で行う必要があることがわかったため、作業日を3連休に合わせ、綿密な工程管理と人員配置を行い、入居官署の業務に支障をきすことなく工事を実施した。 また、引き渡し以降の維持管理のため、系統図とともに整理した番線表を盤内に納め、管理しやすいように工夫をした。
《優秀工事技術者表彰》	工 事 名：外務本省改修(09)建築工事 職 名：監理技術者 受 賞 者：株式会社 松下産業 藤岡 貴尋 氏	本工事は、工事内容が多種であるとともに工事箇所も多岐にわたる工事であったが、監理技術者として、入居官署や関連工事業者と綿密に調整し、入居官署の業務や来庁者への影響を最小限にする工夫を行った。 また、大理石張壁補修の材料や色、天井塗装の塗布量、外壁タイルのアンカー強度等について試験施工を行い、仕様の確定を行うための提案を積極的に行うなど、品質の向上に努めた。
《優良業務表彰》	業 務 名：経済産業省総合庁舎外1件 改修(11)設計業務 受賞団体：株式会社 あい設計東京支社	本業務は、経年劣化に伴い、経済産業省総合庁舎の玄関庇や中庭連絡通路屋等を改修するための実施設計業務であった。 設計にあたっては、コスト縮減(西庇の既存鉄骨再利用)、省エネ(トップライト・LED照明使用)、木質化(庇天井への利用)、雨水利用、太陽光発電の可能性検討など、今日的課題について積極的に取り組んだ。 また、桜田通りに面する各省庁等のファサードや玄関庇のデザインを調査し、霞が関地区の景観に配慮するとともに、中庭側にかけて緩やかに変化する新たなデザインを採用し、全体を取りまとめた。
《優秀技術者表彰》	業 務 名：経済産業省総合庁舎外1件 改修(11)設計業務 職 名：管理技術者 受 賞 者：株式会社 あい設計 藤原 正友 氏	周辺環境を含め、現場調査を十分に行った上で、管理技術者として業務統括を行った。業務全体のマネジメントが確実に行われ、設計提案、課題の把握、工事の際の施行条件の整理などが的確であった。 また、発注者へ提示する設計提案や資料は、社内のデザインレビューを活用したものであり、技術的に裏付けされた品質の高いものであった。